

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス だいち		公表日 令和8年 3月31日				
	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	5		指定基準内のスペースは確保しております。	支援スペース拡充のため増築予定。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1		指定基準に基づいて、配置基準を設けています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		1	建物はバリアフリー設計になっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		1	日頃より、支援室の清掃、活動時に使用した備品のアルコール消毒を実施し、清潔な空間維持を心掛けております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	5	1	状況に応じて環境を整えております。	パーテーションやカーテン等で個別スペースを必要に応じて確保できるように考えていくことが必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	1	1	定期的なミーティングにて職員間で共有していきます。	全員出勤日での定期的な会議等で職員間で実施していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	1	今回の結果も、共有し業務改善に向けて努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			法人として管理者が職員全員へのモニタリングを定期的に実施しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		3		現在、未実施の為、今後検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	1	事業所での内部研修も年間スケジュール組んで実施し、外部研修もスキルアップへと繋がるように積極的に参加できるように調整しております。	生活介護事業のサービス提供時間後に、送迎業務のため法人内研修に参加しにくい場合、少人数でも参加してフィードバックできるように工夫してまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		2	ホームページ等で公表もしっかりと行っていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		2	家庭への聞き取りを必ず行い、頂いたご意見や考えを基にして個々の成長に繋がるような個別支援計画の作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1	1	個別支援計画作成会議には支援に係る職員が参加し、参加者間で課題などを話し合っって作成を進めています。	今後も個別支援計画作成時には支援に係る職員が参加し、参加者間で課題などを話し合っって作成を進めていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		1	それぞれの個別支援計画に基づいた支援を、職員が各々専門性を持って取り組んでおります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		1	アセスメントの際は適切な聞き取りが出来るように心掛けて実施しており、行動観察時も全体で共有できる方法で確認を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		2	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、アセスメントを行い、利用者の成長に繋がるように細かく設定した支援内容になるよう心掛けています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		2	ミーティングの場では可能な限り全スタッフが参加し、取り組みに向けた目標を共有できるように取り組んでおります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	2	継続して取り組む支援と並行し、各利用者が楽しめるプログラムを提供できるように体制を整えています。	今後も季節や生活介護イベントへの参加や、地域のイベントに参加していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		2	支援員間でスケジュールを検討し取り組んでいます。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		2	毎日、支援前にスタートミーティングを実施しており出席状況や利用児の共有事項について確認します。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3	2	支援終了後は送迎の為、終礼の時間は設けていないが、共有が必要な案件がある際は確認する時間を作るようにしています。	今後も、当日利用児童の前回利用時の様子を迎え前に共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		2	支援記録は毎日作成するようしており、管理者がチェックを行い、支援への助言等に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		2	定期的に支援計画の進捗具合のモニタリングを実施し、適時支援の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		4	放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援計画を作成し、日々の支援に反映します。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		2	自己決定に関して支援員が理解を深めることが出来るようにしたうえで、利用児の意思を尊重した支援に取り組んでいきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		2	児童発達支援管理責任者が参加するようにしていますが、対象児童の状況に応じて他の職員の参加も調整しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	2	利用児に関係のある機関との連携を図り、支援方法の統一が必要な際は支援会議の設定などを行います。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		2	お迎えの際に利用児の担任教諭からの引継ぎの時間をしっかりと設けております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1	2	保護者を通じて、情報を共有させていただいています。	全体会議等で共有していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11		2	相談支援専門員を通じて情報提供を行い、場合によってはサービス移行会議にも参加させていただいています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		3	生活介護事業との交流や近隣の放課後等支援事業との交流など実施しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	6		日程が人員配置やサービス提供時間との都合で参加できないことが多いため、少しでも多く参加できるように調整していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		1	送迎時の引継ぎの際に活動の様子や気になる場面の共有などを心掛けております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	4	担当者会議やモニタリングの場にて家庭内においての対応方法などを確認し、援助が必要な場面では改善に向けたアドバイスを実施しています。	あまり実施ができておりませんので、せめて家族が参加できる研修会等の情報提供をできればと考えております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		2	利用契約時に書面にて説明を行い、同意のうえでサインをいただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		2	モニタリング等で利用者、保護者からの要望を聞き取りしたうえで、事業所や法人として可能な範囲での対応をしていきます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		2	個別支援計画の説明を書面にて行い、同意のうえでサインをいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		2	悩み等の相談を受けた際は、適時対応を行い、必要と判断した際は関係機関とも連携を図ります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	2	2		令和7年度に実施した航空会社との交流会を踏まえて、今後も家族で楽しめるような交流会を企画していけたらと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		1	法人内に苦情受付窓口を設置しており、苦情解決責任者が適切に対応いたします。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		1	ホームページや広報誌の発行を行っております。また、インスタグラムなどのSNSの活用も力を入れていこうと思います。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		1	利用契約時に個人情報や写真掲載に関する内容を書面にて説明を行い、同意のうえでサインをいただいております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		2	意思疎通や情報伝達のツールとして、タブレットを用いたり、代替言語の使用などを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	2	1	年に1回、法人と地域との合同での祭りを開催しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		2	緊急時対応マニュアル等、各種策定しており、法人内にて研修の実施や対応の周知を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		1	法人にてBCPを策定しており、避難訓練の実施や災害に備えての対策準備を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		1	利用契約時のアセスメントにて必ずチェックを行っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			利用契約時のアセスメントにて必ずチェックを行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		1	安全計画を策定しており、計画に基づきながら必要な研修や訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		1	利用契約時に説明を実施し、共有しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		2	ヒヤリハットの事象があった際は、報告書の作成及び、ミーティング時の共有を徹底し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	2	法人にて虐待防止委員会を設置し、指針や規定の整備、マニュアルの策定をしています。委員会の開催や、職員を対象とした啓発活動を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		3	利用契約時に書面にて説明を行い、同意のうえでサインをいただいております。		